

子ども農山漁村交流プロジェクト

共催：総務省、文部科学省、農林水産省

子どもの農山漁村交流は、子どもたちの学ぶ意欲や自立心を育むとともに、受入側の地域活性化につながります。ふるさと生活体験活動に取り組むためには、児童・生徒を送り出す学校側と農山漁村側とが実施前から実施中・実施後まで、協働で取り組むことが欠かせません。

この研修では、次のような項目について、学校側と受入側と一緒に学びます。

- 本事業の社会的意義(学校側、受入側)を学ぶ
- 教育効果を高める方法や先進的な事例を理解する
- 受入側の体制や安全管理対策など、学校側の気になる点の解消をめざす
- 学校側・受入側の事例紹介や受講者同士の意見交換を通じて相互理解を深める

本年度も、受入先進地を訪問し、受入家庭の皆さんとの意見交換や体験活動の現地研修を行います。

本研修は、総務省、文部科学省、農林水産省との共催、一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構の協力により実施します。子ども農山漁村交流プロジェクトに携わる方が一堂に会する研修です。

皆様のご参加をお待ちしております。

「子ども農山漁村交流プロジェクト」とは：

平成20年度から、総務省、文部科学省、農林水産省の連携により、小学校における農山漁村での体験活動が進められています。全国の小学校において1学年に相当する児童が自然体験活動等を行うことをめざして、小学校における農山漁村での長期宿泊体験活動を推進する取り組みです。このプロジェクトを通じて、次のような効果が期待されます。

- 子どもたちの学ぶ意欲や自立心、思いやりの心、規範意識などを育む(学校側)
- 受入地域の活性化を図る(受入側)

開催要領

日程	平成26年8月6日(水)～8月8日(金) (3日間)
場所	全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
対象	市区町村・都道府県職員、市区町村・都道府県教育委員会職員、学校教職員、市区町村・都道府県が推薦する受入地域協議会、NPO、PTA関係者等の皆様 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。 ※議員の方も参加可能ですが、市区町村職員等を対象とした研修のため、かなり実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、お申込みは必ず議会事務局を通じてお願いします。
募集人数	40人 募集人数を大幅に上回るお申し込みをいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「研修：受講者募集中」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。
宿泊	研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
経費	11,940円(概算) 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、現地研修、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
申込期限	平成26年7月2日(水)まで
申込方法	JIAMホームページ内「Web申込み」からお申し込みください。受入地域協議会、NPO、PTA関係者等は、市区町村の担当課を通じてお申し込みください。議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。「Web申込み」が難しい場合は、FAXでも受け付けています。 市区町村・都道府県職員、市区町村・都道府県教育委員会職員、学校教職員以外の方(受入地域協議会、NPO、PTA関係者等)は、活動内容の記載が必要になりますので、ご注意ください。
受講決定	受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
事前課題	研修受講にあたって、自団体の紹介や取組資料、事前アンケートをご提出いただけます。 詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

【問い合わせ先】

公益財団法人 全国市町村研修財団

全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906
[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] http://www.jiam.jp



11:00～

入寮受付・昼食

12:30～

開講・オリエンテーション

13:00～13:45

プロジェクトに関する各省の支援

総務省・文部科学省・農林水産省

13:55～14:55

基調講演 体験活動の果たす役割と教育的意義
～学校側と受入側の協働による取組への期待～

文部科学省初等中等教育局 視学官 杉田 洋 氏

15:10～15:50

事例紹介 特色ある先進的な取組事例の紹介①

秋田県大館市立釈迦内小学校 前校長 五十嵐 経 氏

全校児童でヒマワリを育て、絞ったヒマワリ油を販売し、収益金を体験活動費に充当している「釈迦内サンフラワープロジェクト」の取組や子どもたちへの教育効果等についてお話しいただきます。

15:55～16:35

事例紹介 特色ある先進的な取組事例の紹介②

奥能登子ども農山漁村交流プロジェクト受入協議会 会長 多田 喜一郎 氏

地区を未来に引き継ぐために、農家民宿の開業を通して、子ども交流から大人や外国人まで受け入れている取組等についてお話しいただきます。

16:40～17:10

質疑応答

(学校側) 秋田県大館市立釈迦内小学校 前校長 五十嵐 経 氏

(受入側) 奥能登子ども農山漁村交流プロジェクト受入協議会 会長
多田 喜一郎 氏

(進行係) (一財)都市農山漁村交流活性化機構 次長 花垣 紀之 氏

これまでの取組や先進事例から農山漁村での生活体験活動の意義等を考えるとともに、学校側、受入側がそれぞれの課題を共有し、協働して取り組むことの大切さなどについて意見交換を行います。

17:30～

交流会

夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

8:00～14:10

先進地視察 滋賀県日野町における
農家民泊、生活体験活動の取組

これまでの受入活動や体験プログラム等の紹介
受入家庭等との意見交換

受入側の先進地である滋賀県日野町を訪問し、生活体験活動の内容などを実際に体験していただきます。また、受入家庭等との意見交換などを通じて、学校側のニーズや受入側の課題等について考えます。



画像提供:「滋賀県日野町での小学校田舎体験取材レポート」
(一財)都市農山漁村交流活性化機構

8月7日 木

14:30 ~ 15:10

講義 教育効果を高める
体験プログラム作成の要点

(一財)都市農山漁村交流活性化機構 次長 花垣 紀之 氏

教育効果を高める体験プログラムにするためのポイント等について、先進事例の紹介も交えながらお話しいたします。

15:20 ~ 17:30

ワークショップ 学校側と受入側との協働による
体験プログラムづくり

(一財)都市農山漁村交流活性化機構 次長 花垣 紀之 氏

学校側:教育目標の設定、スケジュール、授業時数の調整等

受入側:地域資源の情報収集、学校側の目的・
目標に応じたプログラムづくり等

グループに分かれ、学校側のニーズや受入側の課題等を抽出・共有して、解決方法等を探ります。また、実際にモデル的な体験プログラムを作成します。

8月8日 金

9:25 ~ 12:00

グループ発表 総括 学校側と受入側との
協働による体験プログラムづくり

(一財)都市農山漁村交流活性化機構 次長 花垣 紀之 氏

グループ発表、意見交換、講評

各グループで討論した内容を発表していただきます。その後、意見交換を行い、講師より講評をいただきます。

12:00 ~ 12:10

閉講・事務連絡(閉講後、昼食)

◎研修内容については、都合により変更になることがありますので予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

◎受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。

◎当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。

JIAM メールマガジン
のお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

夏季における軽装
について

当研修所では、地球温暖化防止及び省エネルギーに資するため、夏季の期間(5月1日から10月31日まで)は、「ノー上着・ノーネクタイ」などの軽装での受講を推奨しており、職員も軽装で執務しております。公務研修の場における服装として品位が保てる軽装で受講してください。

研修所までの交通のご案内

- 最寄り駅は、JR湖西線唐崎駅です。
- JR京都駅から唐崎駅までの所要時間は、約15分です。
- JR唐崎駅から研修所までは、徒歩約3分です。





FAXでのお申込みは、矢印の方向に

平成26年度 受講申込書

研修名 及び時期	子ども農山漁村交流プロジェクト				
	平成26年8月6日(水)～8月8日(金) (3日間)				
市区町村 コード番号					※全国市町村要覧に記載のコードを6桁で記入してください。 (例：12345-6の場合、123456と記入)
団体名	都 道 府 県			市 区 町 村 組 合	
所在地 (受講決定 通知送付先)	〒		申込手続の 担当課名		
			担当者名		
			電話番号		
			FAX番号		
			e-mail アドレス		
受講者	所属				
	役職名				
	職階 (○印を記入)	1 部長級 2 課長級 3 課長補佐級 4 係長級 5 主査級 6 主任・主事・技術等級 <small>(自治体職員の方のみ記入ください。) (不明の場合は、「6 主任・主事・技術等級」を選択してください。)</small>			
	ふりがな				
	氏名				
	年齢 (研修開始日現在)	歳	性別	男 ・ 女	
	本研修関連職務の通算経験年月数 (研修開始日現在)			年	ヶ月
受入地域協 議会、PTA、 NPO 等の方	団体の活動内容、行政との協働実績等をご記入ください。				
上記のとおり、研修の受講を申し込みます。					
平成 年 月 日					
団体の長の職 氏名					
全国市町村国際文化研修所学長 あて				公印省略可	

この申込書でご提供いただいた個人情報は、今回の研修事務にのみ使用します。なお、集約した統計データ等は、機関誌などの発行物に掲載することがあります。

全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部 **FAX.077 (578) 5906**